

石川工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	電子情報工学実験 I I I
科目基礎情報					
科目番号	17210		科目区分	専門 / 必修	
授業形態			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子情報工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	電子情報工学科編 「電子情報工学実験III」 (石川高専)				
担当教員	金寺 登,小村 良太郎,嶋田 直樹,越野 亮,長岡 健一,竹下 哲義				
到達目標					
1.自分で考えて作りたいものをプログラミングできる 2.CPUについて理解し,基本的な作成ができる. 3.共振回路の基礎を理解し,説明できる. 4.増幅回路の基礎を理解し,説明できる. 5.マイコンを用いてAD・DA変換プログラムを作成できる 6.周辺機器入出力を伴うプログラムを作成できる					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
本科学習目標 1 本科学習目標 2 本科学習目標 4					
教育方法等					
概要	各専門科目の基礎となる題目について,実験・演習を通じて自分で考え,与えられた課題を解決できる能力を養うことが目標である。レポート作成を通じて,何をどのように実施しどのような結果を得たのかを的確に表現する能力を養うことを目指す。				
授業の進め方・方法	各テーマにおいて,実験・演習を行う。 【事前事後学習】実験のレポート(報告書)は必ず定められた期限内に提出すること。 到達目標の達成度を確認するため,提出されたレポートに対して質問することがある。 【関連科目】プログラミングI,電子回路I,ディジタル回路,コンピュータアーキテクチャ				
注意点	実験の準備として事前の内容の予習および実験後の結果(データ)の整理が大切です。 実験前に予習を担当者に提出していただく必要があります。 授業で学んだ専門科目の基礎を理解している必要があります。				
テスト					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	プログラミング演習1	演習のガイダンスを行う。Webシステムの基礎となるHTMLについて理解する。	
		2週	プログラミング演習2	Webシステムのデザインなどを学び,CSSを理解する。	
		3週	プログラミング演習3	動的なWebシステムを作るために, Javascriptを理解する。	
		4週	プログラミング演習4	様々なプログラミング言語について学び,作りたいシステムを考える。	
		5週	プログラミング演習5	作りたいシステムを実装する。	
		6週	プログラミング演習6	ポートフォリオの作り方を理解する。	
		7週	プログラミング演習7	ポートフォリオをクラスに発表し,相互評価を行う。	
	2ndQ	8週	CPUの作成1		
		9週	CPUの作成2		
		10週	CPUの作成3		
		11週	CPUの作成4		
		12週	CPUの作成5		
		13週	CPUの作成6		
		14週	共振回路1		
		15週	レポート指導		
		16週	前期復習		
後期	3rdQ	1週	共振回路2		
		2週	増幅回路の基礎1		
		3週	増幅回路の基礎2		
		4週	増幅回路の基礎3		
		5週	増幅回路の基礎4		
		6週	増幅回路の基礎5		
		7週	増幅回路の基礎6		
		8週	増幅回路の基礎7		
	4thQ	9週	AD/DA変換と周辺機器制御1		
		10週	AD/DA変換と周辺機器制御2		
		11週	AD/DA変換と周辺機器制御3		
		12週	AD/DA変換と周辺機器制御4		

		13週	AD/DA変換と周辺機器制御5	
		14週	AD/DA変換と周辺機器制御6	
		15週	レポート指導	
		16週	学年末復習	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	予習・実験状況	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	40	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0